



お茶の水女子大学 名誉教授

近藤 譲 先生

講演会



音楽を<聴くこと>の想像性と創造性

日本を代表する世界的作曲家であり、また、『線の音楽』や『音を投げる』等の著書でも知られるなど、幅広い創造活動を展開されていらっしゃる近藤譲先生。新刊書『聴く人(homo audiens)-音楽の解釈をめぐって』をベースに、「聴くこと」をテーマにお話いただきます。「聴くこと」は、演奏者として、教育者や研究者として、また音楽産業や子育てで音楽に関わっている方など、広く卒業生が、日常的に向き合っているテーマであると思います。それぞれのお立場で「聴くこと」と向き合う機会になれば幸いです。

平成26年5月18日(日) 11:00~13:45

於：茗溪会館 (丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩2分 TEL.03-3943-0321)

〔講演会〕 11:00~ 「音楽を<聴くこと>の想像性と創造性」

講師：近藤譲先生(お茶の水女子大学名誉教授)

こんどうじょう◎1947年東京生まれ。東京藝術大学で作曲を学び、在学中からその作品が注目を浴びた。1970年代初頭に、自ら「線の音楽」と名づけた独特の作曲方法論を提唱し、以後国際的に活躍。欧米の多くの主要機関や音楽祭から委嘱を受け、特集演奏会が組まれている。ほぼ全作品の楽譜がイギリスのUYMPから出版され、CD録音も多い。2012年、アメリカ芸術・文学アカデミーの外国人名誉会員に選ばれた。国内外多くの大学で教鞭をとり、講演をおこなっている。お茶の水女子大学名誉教授。主な著書に『線の音楽』(朝日出版社)、『耳の思考』(青土社)、『<音楽>という謎』『音を投げる』(以上春秋社)、『聴く人(homo audiens)』(アルテスパブリッシング)など。

〔交流会〕 11:50~ 教員・卒業生からの近況報告 ほか
現・旧教員、卒業生から近況についてお話をお伺いするとともに、
親睦のひとときをお楽しみください。



会費：7,000円(名簿管理・通信費を含む) ※お申込は、お手元のご案内状をご覧ください。